

○ 本年度学校教育の努力点

(1) 本校の努力点

上記の教育目標ならびに本市学校教育の努力目標を基に、本校の努力点

「自分の命を守り抜く児童の育成」(2年次)

—探究的な学びを通して—

(2) 主題設定の理由

本校では、「自分の命を守り抜く児童の育成」をテーマに、昨年度は、リスクコミュニケーションをベースとした見通し・行動・振り返りサイクルで実践を行ってきた。事前指導で「見通し」をもたせ、避難訓練で「行動」し、その後の話し合いやひなんレンジャーシート(O P P A)で自分自身の行動を「振り返る」という一連のサイクルを積み重ねたことにより、児童は災害を自分事として捉え、主体的に避難行動をとることができるようになってきている。また、リスクコミュニケーションの考え方を導入したことで、児童が地震に対してどうしたら自分の身を守ることができるのかを主体的に考え、対話の中で学びを深めることができるようになってきている。

今年度は、避難訓練の枠にとらわれず、各学年の発達段階に合わせた防災教育を行う。その際、児童が災害を自分事として捉え、主体的に学びを探究していくことができるようにする。また、日頃の学習においても、豊かな人生の実現や災害を乗り越えて時代の社会を形成することに向けた諸課題に対して求められる資質・能力を教科等横断的な視点で育成していく。

(3) 研究の進め方

ア 実践の方法

- ・ 学年で協力して防災に関する授業の略案を2つ作成し、実践を公開する。
- ・ 研究授業は、2学期末までに計画的に行う。また、取り組む教科・領域は自由とする。
- ・ 略案は授業日の3日前までに、全職員に配布する。推進委員長へは、保管用も含めて2部提出する。
- ・ 同じ学年の研究授業は必ず参観とし、他学年の研究授業は、低・中・高学年部会の授業を学年で1人ずつは必ず参観し、学年で共有する。
- ・ 研究授業では、よさ→青色、課題・疑問→赤色の付箋に記入し、事後検討の際には、その付箋を使いながら、協議を行う。

イ 事前・事後検討会について

- ・ 手だてや授業の工夫について学年で事前検討を行い、他クラスは、プレ授業か事後に授業行う。(指導案を使った授業を各学級年2回ずつ行う。)
- ・ 授業実践後には、努力点に関する内容について、学年と参観者で事後検討を行い、今後の実践に生かす。(付箋・検討シートを活用)事後検討会に参加する参観者は、授業日までに必ず授業者やその学年に伝える。

ウ 保護者や地域への啓発

- ・ 学校だよりでの情宣

- ・ 学年だより・ホームページでの情宣（各実践後）
- ・ 学校努力点授業参観（9月）

4 推進組織

校長・教頭・教務・推進委員会・学年部会で構成する。

低学年部会	中学年部会	高学年部会
1、2年生 つくし、小林	3、4年生 養護教諭	5、6年生 校務主任

5 推進計画

月 日	会 合 名	内 容
4月 5日	努力点推進委員会	推進計画の提案と検討
4月10日	努力点全体会	努力点について提案、年間の実践計画(学年)
5月10日		実践計画提出締め切り
5月13日	努力点学習会・ 学年部会	前期実践の計画
6月17日	現職教育	宮城教育大学 防災教育研修機構 林田由那講師の講演
7月19日	現職教育	避難所運営ゲーム
8月31日		中間報告書提出締め切り
9月	努力点中間まとめ	前期実践の成果と課題分析(紙面開催)
10月10日	努力点学習会・ 学年部会	けが人封筒訓練 後期実践の見直しと計画(学年)
1月27日	努力点全体会	第4回避難訓練振り返り
1月31日		最終報告書提出締め切り
2月13日	最終報告会	実践の成果と課題について
2月17日	努力点推進委員会	来年度に向けての検討
3月21日	努力点推進委員会	来年度に向けての提案と検討